



自主 自律 自愛

小島中だより



第 11 号
令和 7 年 12 月 24 日発行

もちつき大会 あいがとうございました

12月20日(土)に愛宕小学校区まちづくり協議会主催及び小島中学校区育成協議会共催によるもちつき大会が開催されました。前の週から道具運搬や洗浄・乾燥、前日には、もち米の浸水作業など準備をしていただきました。当日は、早くから火おこしなどを行っていただき、たくさんの参加者が楽しいもちつき体験させてもらいました。参加した小中学生及び地域、保護者の皆様みんなが笑顔で、とても楽しいもちつき大会でした。

さらには、あんこ、きな粉、しょうゆ味のつきたてのお餅を食べることができとても幸せな時間を過ごさせてもらいました。本当にありがとうございました。



2学期終業式

12月16日(火)・17(水) インフルエンザ流行のため1年生の1クラスの学級閉鎖を行いました。その後は、感染拡大は少しずつおさまり、12月24日(水)に、無事2学期を終えることができました。行事が多く長い2学期を、生徒は多くのことを学び、考え、大きく成長しました。各学年代表のあいさつにもそのことが表現されています。また、私からも、**刺激、喜び、感動**の多い2学期だったことについて話させてもらいました。

【校長】

全校生徒の皆さん、「おはようございます。」2学期もあっという間に過ぎてしまったように感じますが、みなさんにとって有意義な学期となりました。

私はこの2学期は、とても楽しく有意義な時間でした。たくさんの**刺激、喜び、感動**を感じさせてもらいました。その代表の一つが、合唱コンクールです。

1年生が、少し緊張していた中、元気で素直な合唱を奏でくれました。

2年生は、中学校生活での成長を感じさせる、先輩としての落ち着き、プライドを感じさせる合唱でした。

そして3年生、難しい曲にひるむことなく挑戦し、仲間への感謝、周りの人たちへの感謝が伝わる合唱を披露してくれました。学校の中心となり、小島中学校を引っ張って行く存在として立派に成長した姿でした。

地域・保護者の方からもたくさんお褒めの言葉をいただきました。みなさんありがとうございました。

次に、2年生の修学旅行があげられます。私は、修学旅行の出発式で、「**みんなが、無事に帰ってくる**こと」、「**様々な場面で、周りの人のことを考えて自分にできることを実践すること**」この2つを2年生にお願いをして出発しました。途中、少し体調を崩した人もいましたが、けがや事故によって悲しい・つらい思い出となることなく、全員が無事に楽しい思い出とともに帰ってきました。また、班の仲間が困っていたら、手を引いて寄り添った姿やフェリーの中では、仕事で疲れて休んでいるトラックドライバーの方のことを考えて、静かに過ごす姿などたくさん見ることができました。さらに、私のことと言えば、一人でベンチに座っているとき、よほど私がさみしそうに見えたのでしょうか、「校長先生、元気ですか?」と声をかけてくれた生徒がいて、すごくうれしくなりました。私は、小島中学校の生徒と修学旅行に来てとてもよかったと思いました。

そして3つ目は、朝、各教室をまわって挨拶をすると、「おはようございます」と笑顔で返事を返してもらいます。今では、声も大きく、笑顔も増え、私より先に挨拶してくれる生徒も多くなりました。また、笑顔で手を振ってくれる生徒、グータッチをしてくれる生徒、さらには、途中まで、同行してくれる生徒、校長室を覗いて挨拶してくれる生徒もいます。私は、この君たちの笑顔からいつも元気をもらうことができました。ありがとうございました。

私は、これからもこのように、誰もが楽しく喜びを感じられる小島中学校であってほしいと思っています。みなさんも、しっかり2学期の自分の姿を振り返って、新しい年(令和8年午年)を迎えてください。

1月8日 3学期始業式には、また皆さんの笑顔を見せてください。またみんなで、楽しい小島中学校をつくっていきましょう。

この後、冬休みの生活について、生徒指導主事の濱口先生より話があるとあります。また、学級でも担任の先生か

ら話があると思いますが、私から、最後に、「冬休み、事故、ケガには十分注意し、生活のリズムを崩さない」「学習に力を注ぐ。やったもん勝ち、努力したものは必ず報われる」と1学期の終業式でも話したことをお願いして、終業式のあいさつといたします。

【1年生代表】

僕は、学級委員としての活動の場を頂きました。その際、僕が成長したり、頑張ったりしたことが4つ、課題だと感じていることが2つあります。

1つ目は、学級新聞で役割分担をし、みんなで学級新聞を協力し合って作るように指示を出したことです。

2つ目は、時計を見て時間を守り、みんなも守れるように声掛けをしたことです。

3つ目は、朝・帰りの会の学級委員からの一言です。



僕は、誰かの落ち度や悪い出来事をただみんなの前でこんなことがあったと言って終わるような一言を言いたくないと思っていました。そこで、僕は深い中身があって、できる限りポジティブな内容、そして、みんなの気持ちにできるだけ寄り添うような内容を話したいと考えました。だから、ネガティブな内容をできるだけ話さないようにし、それでも話さなければならぬときは「このような気持ちもわかるけどやっぱり」という文を入れました。また、みんなに健康管理を促す内容を話す日もありました。さらに、数回ユーモアを入れたこともありました。このように、自分の中では最善を尽くしてきたと考えています。

4つ目は、号令は全てはきはきとした声でできたことです。僕は、はきはきとしていない声で話しかけられたら、何と言っているのかわからず、困ってしまうことが多いと感じています。だから、僕の話し方でみんなが困ることが無いようにはきはきと話すことを意識しました。最善を尽くしたつもりです。

このように、自分は学級委員として頑張ってきたと考えていますが、自分に対して2つの課題を感じています。

1つ目は、先程時計を見て、時間を守るようにみんなに声掛けしたと述べましたが、自分も遅れてしまうことがたまにあったことです。だから、ミス完璧に無くすことは至難の業だと思いますが、もしまた学級委員として活動する場を与えてもらったら、妥協せずにミスを日々減らしていきたいです。

2つ目は、ただ一つの答えがないことをすることが苦手だということです。皆さん突然ですが、 9×9 は何かと聞かれたら即答できますか？答えは、81です。それでは、一番良い話し合いの司会進行の仕方はどんなものかと聞かれたら即答できますか？そういった類が得意な人は即答できるかもしれませんが、僕はおそらく即答できません。なぜなら、それにはたった一つの答えがないからです。一方で、先程の 9×9 の問題には「81」というたった一つの答えがあります。僕は、答えのある問題はものすごく得意ですが、答えがない問題だと、「自分はあっているのかな」「周りと違うことをして自分だけ浮いていないかな」「奇抜ではなく、普通な人間になりたいな」と思ってしまいます。だから、これからはあらゆる場面を想定して正しい自分の姿をイメージしていきたいです。

次に、僕が客観的な立場から見た全体のいいところが2つ、課題だと感じるものが1つあります。

いいところの1つ目は、厚生部がみんなを急がせたり、一人ひとりがてきぱきと行動したりして、給食の準備が早いことです。給食の準備が早いとみんな給食の食べ初めが早くなり、食べ終わるのも早くなるので昼休みはたっぷりと外などで健康に遊ぶことができます。

いいところの2つ目は、協力的な人がいることです。学級新聞を制作しているとき、何も割り振っていないにも関わらず、自らの善意で進んで制作を手伝ってくれた人や、他の誰よりも朝早く学校に来て、朝早くから制作を手伝ってくれる人がいました。

このように、全体的ないいところがたくさんありますが、改善すべき課題もあります。それは、安全に生活することです。2学期になると、どうしても緊張がほぐれてテンションが高くなってしまふことがあります。それにより、怪我をしたり、危険なことをしたりしている状況に何度か出くわしました。

最後に、新学期の抱負です。もうすぐ、新しい一年の始まりという大切な節目がやってきます。この節目で、皆さん一人一人が課題だと思っていることをリセットして、心機一転、新しい爽やかな、わくわくとした気持ちで更に良い自分にしていきましょう。また、この一年で何かしらに協力することができなかった人たちは、来年は是非積極的に様々なことに協力していきましょう。そして、みんなが安心して学校生活を送れる小島中学校にいきましょう。

【2年生代表】

「やればできる！」これは、私達3組の学級目標です。やればできる…はずなのですが、私たちはたくさん叱られながら2学期を過ごしてきました。しかし、頑張ったことがあります。

まずは合唱コンクールです。練習が始まった最初のうちは僕も含めて、なかなか気持ちが入らず一生懸命に取り組むことができませんでしたが、コンクールの日が近づくにつれて、実行委員を中心にクラスの皆で協力するようになりました。僕たちは、放課後遅くまで、歌のポイントとなるところを模造紙に書き入れて、さらに皆が楽しく練習に打ち込めるように動きました。その甲斐あって、本番当日はクラス全員が全力を出し切り、これまでで最高の歌声を体育館いっばいに響き渡らせることができました。優勝はできませんでしたが、最高の思い出となりました。3組のみんな！ありがとう！「やればできる！」

次に修学旅行です。僕は班長の1人となり、他の班長と共に、学年の皆が楽しめるように、精一杯努力しました。旅行中は計画の段階で考えていたことよりも、様々なことが起こり、足りないことばかりでした。テンションが上がり過ぎて、旅館では大きな声で騒ぐなどして、叱られることもありましたが、その後は、注意されたことを意識して生活できました。最後は、皆が笑顔で帰ってくることができました。本当に最高に楽しい修学旅行となり、一生の思い出となりました。

3学期は、最高学年に上がる準備の学期です。先輩方が作ってくれた最高の小島中学校を、さらに良い学校にできるように、気持ち新たに、皆で頑張っていきましょう！そして、苦手な勉強からも逃げずに頑張っていきます！



「やればできる！」

【3年生代表】

私が2学期の中で特に印象に残っている行事は、中学校生活最後となる合唱コンクールです。最初は練習を進める中で意見がぶつかり合うこともありましたが、パートごとに支え合い、一緒に頑張りながらお互いを高め合うことで、最後には素晴らしい合唱をすることができました。その結果、三年一組は金賞を取ることができました。この経験を通して、仲間と協力して努力することの大切さを、改めて感じるすることができました。また、三年生は2学期のスタートに、いくつかの約束をしました。時間厳守、整理整頓と健康管理、正しい言葉遣いやマナーを守ること、相手に伝わるあいさつ、提出物の締め切りを守ること、そして学級の団結力を高めることです。どれも当たり前のことですが、まだ努力が必要な点もあります。三年生の三学期には受験が待っています。一人一人がそれぞれの志望校に進むために努力する、大切な時期です。不安や緊張を感じている人もたくさんいると思います。これからの冬休み、そして受験日までの残りの時間を大切に使い、三学期には2学期に立てた約束を必ず全員で実行し、進路実現に向けて最後まで努力していきたいです。三年間の中学校生活の集大成として、一日一日を悔いなく過ごし、小島中学校を胸を張って巣立てるよう、三年生全員で前を向いて進んでいきましょう。



令和7年 地域・保護者のみなさまには、大変お世話になりました。

令和8年 午年 これまで同様、よろしくお願いします。

